

放課後等デイサービス キッズボンド守口 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			支援活動室は十分な広さを確保。そのほかに学習室、調理室も備えている
	②	職員の配置数は適切であるか	○			原則として、児童2.5人に対し1名の指導員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内全てバリアフリーになっており車椅子でも利用できる。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日、ミーティングを実施しており職員全員から意見を聞いている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者へ評価表を配布しているほか、保護者とメールや電話で密に連絡を取っておりニーズに応えた業務改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月数回キッズボンドグループでオンライン研修会・数か月に一度公認心理師によるOJT研修・必要とする外部研修の参加を実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援専門員と連携・保護者へのモニタリングを行い、弊社で標準化したAssistを用いて評価を作成。公認心理師からのスーパーバイズにより支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			キッズボンドグループ共通、標準化アセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			分担制にしており担当職員の立案を職員全員で話し合い策定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動療育を軸に、個々の児童に合わせた活動を実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と学校休業日では支援内容を変えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画に基づき、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			受入前ミーティングは必ず実施し、支援内容や役割分担を明確にしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティングを必ず実施し、次回の支援に役立てている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録はその日のうちに記録している。また、職員会議を定期的に行き、ふり返りを行い、職員共有し改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			原則、半年に一度モニタリングを行っている。必要であれば、前倒しで実施する。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			製作、食育、お出かけ、地域交流を柱とし支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議がある場合、児発管と常勤有資格者1名の合計2名参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者とは連絡帳やメール、電話を通して、学校とは必要に応じ連絡を取り、適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	当事業所では、現在医療的ケアを必要とする児童の利用は現在無いが、今後該当児童が利用する場合主治医と連携が取れるよう保護者と情報共有を行う。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育所関連とは共有が無いが、児童発達支援事業所とは情報共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	当事業所から卒業した利用児童はまだいませんが、今後卒業を控える該当児童がいた場合移行先への情報提供共有は行う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	事業所交流を含め、各種研修は、参加するようにしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在、健常児との関りが少ないが、今後は利用児童の特性を理解しながら徐々に取り組みたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後、積極的に参加するようにする。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的に保護者との面談や日々の連絡を通じ、共通理解をもっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	定期的に保護者との面談や日々の連絡を通じ、レスパイトケアを実施しているがまだ十分ではない。
保護者への説明責任	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に懇切丁寧に説明している。 また、保護者から質問があればその都度説明をしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者が安心して話を出来る環境（家庭・事業所）で助言し、内容によっては相談支援員の方へも情報共有を行っている。

任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在年1回保護者も参加できるイベント活動を開催。保護者会については現利用保護者より不必要回答が多く、行っていない。今後も定期的に保護者アンケートを行い必要保護者が増えた場合開催をする。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には、担当指導員が管理者・児発管に報告し、保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、「キッズボンド通信」を月初めに発行し保護者に配布、保護者専用Instagram・公開Facebook等SNSを中心に日々の様子を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			書類は鍵付書庫で厳重に保管している。HP・SNS上の写真には保護者の同意を得た上、モザイクをかけている。Instagramは保護者（利用者）のみ閲覧可能にしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			あいまいな表現を使わず、言葉で意思の疎通が難しい場合、状況に応じて視覚化し情報伝達共有をしている。
非常時等の対応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、地域交流は出来ていない。今後利用児童の特性を理解した上で地域交流に参加したり、教室内でのイベントに招待したりできるよう職員間で話し合いを行う。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		現マニュアルに関しては周知しているが、マニュアルは常に更新が必要の為都度、職員間で話し合い修正を行い保護者へ通知していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	消防訓練年二回（内1回は地域消防署来所）施設内では、次年度より年間訓練計画を作成し毎月訓練に関するテーマを活動に取り入れていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			義務化に伴い年二回の研修を実施し、職員自身毎月セルフチェックを行い、虐待に関する認識度を強化している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束についても職員間にて会議を行い、身体拘束についての認識度を強化し、その都度児童、保護者にも説明をし、了解を得ており、運営規定に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在利用児童には当てはまらないが、今後該当児童がいた場合は、保護者と情報共有し対応する。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で共有している。